

01 TOPICS iOS7での新機能「iBeacon」とは？

iBeaconについて

iBeacon とは iOS7 のキラーコンテンツとも評されている、BLE (Bluetooth Low Energy) をベースとした近距離無線通信のことです。頭文字の「i」からも分かるように、実は Apple 社によって命名された技術です。Android では 4.3 で BLE をサポートしています。ただし、現時点では iOS に比べると技術的な制限(バックグラウンドで利用ができないなど)や端末依存の問題などがあります。今注目される iBeacon。今後の Android の動向は HOWL 編集部としても注目しています。

活用事例

O2O施策利用：

店舗やイベント会場に集客するためのツールとして利用。来店時に自動でポイントが貯まる、クーポンを自動配布、プッシュ通知の自動配信でリピート利用促進が可能。

ガイドランス・ナビ利用：

商品情報の配信や検索ツールとして利用イベント会場での座席検索、美術館や店舗での商品情報の説明を手軽にユーザが確認でき、価値あるサービスの提供が可能。

能動的にユーザーに働きかける事が、より可能になります。



iBeaconを活用したアプリ実績



Ninja Tryst os : iOS 価格 : 無料

待ち合わせの際に相手が近づいてきていることをお互いに知ることができるアプリです。徐々に近づいてくる様子が高揚感を演出し、忍者ムードを味わえるコミュニケーションツールです。

最新アプリ実績紹介



一休.com

OS : iOS/Android

価格 : 無料

概要 : ホテル・宿泊の予約がスマートフォンから簡単に行えます。



ジャパネットアプリ

OS : iOS/Android

価格 : 無料

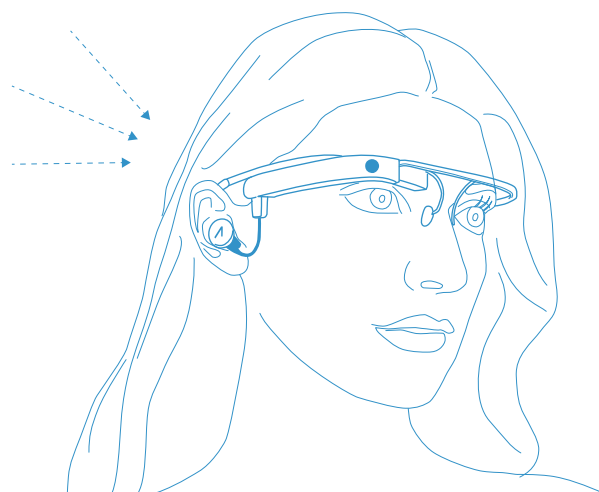
概要 : カメラ機能を使いテレビやチラシと連動して文字を入力せずにショッピングを楽しめます。

今さら聞けない、話題のウェアラブルとは？

サムスン、ソニーなどが次々とスマートウォッチをリリースし、国内でもセイコーエプソンが第2世代のスマートグラス「Moverio(モベリオ) BT200」を発表したのは記憶に新しいかと思います。

昨今話題を集めているウェアラブル。改めておさらいしてみるとウェアラブルとは、身につけて持ち歩くことが出来るコンピュータのこと。コンピュータやスマートフォンの周辺機器としての使い道が期待されています。「眼球に直接埋め込まれ、脳に直結したディスプレイ」の実用化も議論されており、SFやアニメーションで表現された世界が現実となる日も近いといえます。次々と発表されるウェアラブルですが、スマートフォンのアクセサリ、例えばiOS対応の健康アプリ等の組み合わせで留まっている、というのがHOWL編集部の見解です。

他のデバイスやアプリとの連携効果や健康管理だけではない可能性として提案したいのは、ウェアラブルを業務に活用しませんか、というもの。常に身に付けている特徴を生かし、利用者に対するリアルタイムの情報提供や



利用者の状態の記録、外部コンピュータとの連携が可能になるのです。これらは作業をしながら調べものをするといった同時作業を安全に実現できるのです。

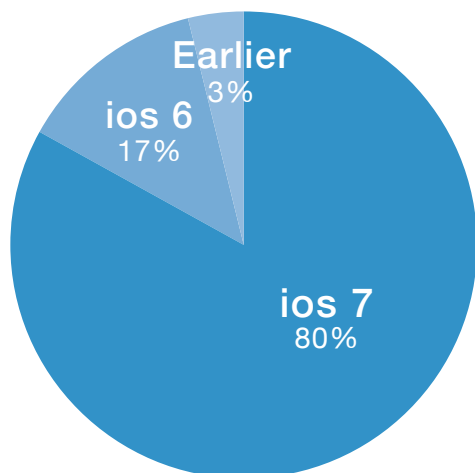
この技術をいち早く応用した業務アプリ含め業務に活用できるウェアラブルは今後、大いに期待できるといえるでしょう。

ウェアラブル端末一覧

商品名	タイプ	発売元	発売日	費用	概要
Gear2	時計	サムスン	2014年4月	未定	搭載OSはTizen OS。サムソン端末との連携が可能。メディアプレーヤーとしてBluetoothヘッドフォンを接続して音楽を再生したり、フィットネス(心拍数、歩数、エクササイズ)端末としても利用できる。
SmartWatch2	時計	ソニー	2013年10月25日	14,800円(税込)	Xperia™ に接続すると、Xperia™ がポケットやバッグに入っている場合、情報を手元で確認することができる。例えば、メールやSNSなどの新着通知を確認したり、音楽再生、電話着信時に応答・拒否などの通話処理をすることができる。
Moverio BT-200	眼鏡	セイコーエプソン	2014年4月下旬～5月下旬予定	Open Price	目の前の風景と、メガネのレンズ部分に映し出された映像を大画面(20m先に320型相当)で同時に見ることができる。シースルーモバイルビューアー。ヘッドセット部分をメガネのようにかけた状態で、専用のコントローラーを使い手元でタッチ操作を行うことができる。
GoogleGlass	眼鏡	Google	2014年後半予定	89,800円(税込)	スマートフォンのような形式でハンズフリーに情報を表示し自然言語音声コマンドでインターネットが使用可能。グラスに付いたプリズムのような表示デバイスに、画像やテキストなどさまざまな情報を表示し、また、内蔵の骨伝導スピーカーで音もユーザーに伝えることができる。
SpaceGlasses	眼鏡	META	未定	\$667	3Dのヘッドセットとメガネが組み合わさったガジェット。Kinectのようにジェスチャーをキャプチャすることが可能で、たとえば仮想空間のゲームや3Dのデータを直観的に作成することもできる。もちろん対話している人のプロフィールを仮想空間に出すこともできる。
Telepathy One	眼鏡	テレパシー	2014年予定	未定	超小型のプロジェクタによる映像が目の前に見え、ディスプレイが視野の一部に浮かんでいるように見える。Bluetoothで他のデバイスと接続でき、メール受信、SNSの新着通知を確認できる。また、「今見ているもの」を友人と共有することもできる。

意外と知らない!? OSのバージョンについて

iOSの分配（～2014.1.26）

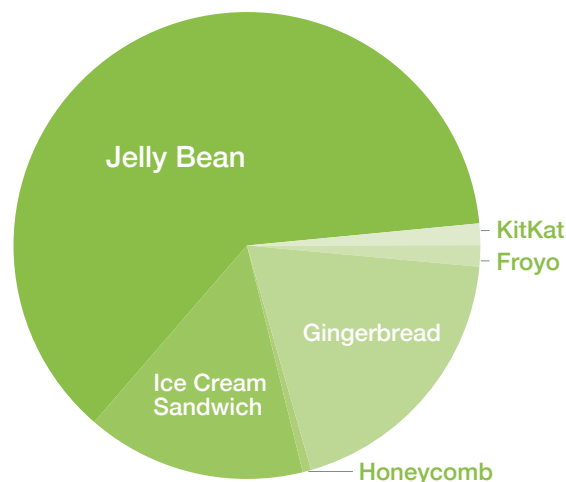


Apple が公開しているデータによると 80% の iPhone / iPad / iPod touch が iOS7 を利用していることになり、17% が iOS6、iOS5 以前が3% となっています。

※ 計測期間は2014年1月26日までの7日間で、App Store にアクセスした iOS デバイスのデータを元に算出されています。
【画像引用元 App Store Distribution】

Androidの分配（～2014.2.4）

Version	Codename	Distribution
2.2	Froyo	1.3%
2.3.3 - 2.3.7	Gingerbread	20.0%
3.2	Honeycomb	0.1%
4.0.3 - 4.0.4	Ice Cream Sandwich	16.1%
4.1.x	Jelly Bean	35.5%
4.2.x		16.3%
4.3		8.9%
4.4	KitKat	1.8%



Google が公開しているデータによるとトップは2012年6月に発表された Android4.1 で 35.5%、次は2010年12月発表の Android2.3 で20% となります。その一方で2013年11月に発表された Android4.4 は1.8%、2013年7月に発表された Android4.3 は8.9% です。

※ 2014年2月4日までの7日間で計測されたデータです。Google Play Store にアクセスした Android デバイスのデータを元に算出されています。
【画像引用元 Android Developers】

対象OSとバージョンは明確に

上記分配率を見ると、iOS の最新版利用率が高いのに比べ Android の最新版利用率が低いことがわかります。

Android の場合、最新版の OS が公開されてもメーカーが試験を行い、アップデートを配信するのをまたねばなりません。また、端末のスペック不足で配信されないこともあります。

Apple による一元管理の iOS 端末と各メーカー個別で管理する Android 端末、これが Android が様々なバージョンで使われる「断片化」を引き起こしている原因といえそうです。

アプリ開発を検討される際は、まずどのバージョンを対象とするのか？

対応バージョンを明確に定めることが重要であるというのがHOWL編集部の見解です。

04 INFORMATION Fenrir Voices

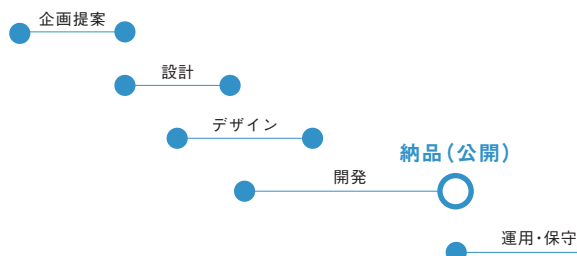
Designer's column 【スマートフォンアプリ受託開発の心得.01】

スマートフォンはOSや端末、アプリの仕組みやサービスが多様化、複雑化してきており、受託側にも高い専門知識やノウハウが求められています。このコラムでは、連載で受託開発者視点でアプリ開発ならではの注意点を確認していきます。

STEP.01 開発の流れを確認せよ

第一回目は基本的なアプリ開発の流れから確認しましょう。アプリ受託開発は、大きく「企画提案」、「設計」、「デザイン」、「開発」、「納品(公開)」、「運用・保守」の6つのフェーズがあります。プロジェクトの内容(新規開発か機能追加やリニューアルなのか)や規模、開発手法などによってフェーズの流れや順番が異なりますが、ほとんどの場合はこの流れでアプリ開発は進みます。

→ 次回につづく



第4回 スマートフォン&モバイルEXPO【春】に出展します！

フェンリルでは2014年5月14日より東京ビックサイトで開催される「スマートフォン&モバイル EXPO」へ出展致します。フェンリルがこれまでお手伝いさせていただいたスマートフォン/タブレット向けアプリの開発実績をご紹介します。無料招待券をご希望の方は、営業担当までお問い合わせ下さい。

【 日 程 】 2014年5月14日(水)～16日(金) 10:00～18:00

【 場 所 】 東京ビックサイト

「企業におけるタブレット有効活用(仮)」セミナー開催します！

企業のスマホ・タブレット導入が進み、フェンリルでも企業内・業務内でのスマホ・タブレット活用のご相談が増えてきています。実際にタブレット導入することで他社がどんなことをしているのか、またどんな効果が出ているのか、そういった情報についてまだまだよく理解していないという方も多いと思います。そこで本セミナーでは、タブレットの企業利用動向や、実際にタブレットとアプリをどのような形で有効活用しているのかをご紹介します予定です。よりよいアプリを作るため、UX(ユーザー体験)の概念に基づいていく重要性等についてもご紹介いたします。是非ご参加ください。

【 日 程 】 2014年4月21日(月) 14:00～17:00 (13:30 受付開始)

【 場 所 】 AP 渋谷(東急プラザ渋谷 8階)

【 参 加 費 】 無料(事前登録が必要となります)

【 お申し込み 】 fenrir.b2b.seminar@fenrir.co.jp へメール頂くか営業担当までお問い合わせください。

※セミナーの詳細な内容については変更する可能性もございますので最新の情報については
fenrir.b2b.seminar@fenrir.co.jp までお問い合わせください。

お問い合わせ

フェンリル株式会社 E-mail: fenrir.b2b.sales@fenrir.co.jp

大阪本社 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワー B14F
TEL: 06-6377-7606 FAX: 06-6377-7609

東京支社 〒141-0031 東京都品川区西五反田2-27-3 五反田フロント 5F
TEL: 03-5719-3321 FAX: 03-5719-3325